

名古屋市立大学病院 総合診療専門研修プログラム 2019

～ さんさんと輝く「太陽」のような医師を目指して ～

注意

正式なプログラム認定はまだされていないため、
本資料の内容は「予定」とお考えください。



そもそも

「総合診療」専門医とは？

総合診療専門医の目標は「地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む）を包括的かつ柔軟に提供できる。また、総合診療部門（総合診療科・総合内科等）を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供することができる。具体的には以下の7つの資質・能力を獲得することを目指す。」とされる。

総合診療専門医に求められる 7つの資質・能力とは？

- ① 包括的統合アプローチ
- ② 一般的な健康問題に対する診療能力
- ③ 患者中心の医療・ケア
- ④ 連携重視のマネジメント
- ⑤ 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
- ⑥ 公益に資する職業規範
- ⑦ 多様な診療の場に対応する能力

総合診療の点から見た

「名古屋市立大学病院」とは？ ①

- ① 大学病院として都市部の特定機能病院ではありませんが、名古屋市の地域医療を支える中核拠点病院でもあり、地域の多くの医療施設と連携して、全人的な医療を提供しています。
- ② 救命救急センターを有し、幅広い救急救命措置や教育が行われています。同時に、学病院レベルの、高度に細分化された専門科診療も提供しています。

総合診療の点から見た

「名古屋市立大学病院」とは？ ②

- ③ 総合内科・総合診療科は、横断的な診療が必要があったり、分類不能などの患者さんへの対応を中心に全人的医療をしています。
- ④ 専門診療科や診療連携室、退院支援室との連携が多く、多部門・多職種スタッフと協議したりするカンファレンスが豊富に行われています。

名古屋市立大学病院の 「総合内科・総合診療科」には？

医学部学生や初期臨床研修医、薬剤師レジデント、看護師等を対象とした教育に携わる機会も多く、教育を通じて、双方向に多くの学びの場が存在します。

総合内科・総合診療科の 「学び」の具体例は？

- ① **Off The Job Training (Off-JT)** は、院内の臨床シミュレーションセンターでの救急蘇生、内科救急、小児科救急蘇生、産科・新生児救急蘇生など様々な講習会が通年開催されています。
- ② 多施設ネットワークで連携病院とのカンファレンス、Web-CPCなどの開催を常設的に行っています。連携病院で研修中でも、Webカンファレンス、Web講義に容易に参加できます。

本専門研修プログラムが目指す 「総合診療医」とは？

A) 地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア、等を含む）を包括的かつ柔軟に提供できる

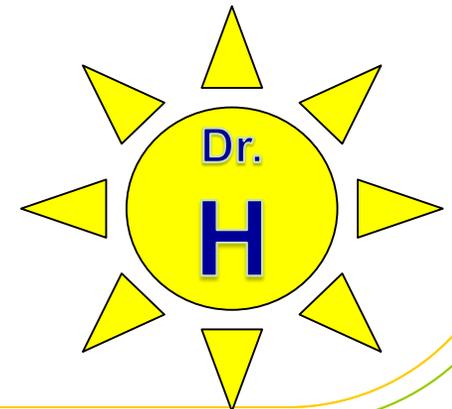
いわゆる
プライマリ・ケア医
(Primary Care Physician)



本専門研修プログラムが目指す 「総合診療医」とは？

B) 総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、がん・非がん患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供できる

**いわゆる
病院総合医
(Hospitalist)**



本専門研修プログラムが目指す 「総合診療医」とは？

B) 総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、がん・非がん患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供できる

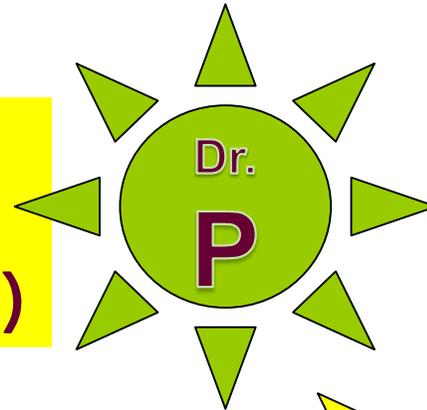
または

**いわゆる
診断医
(Diagnostician)**

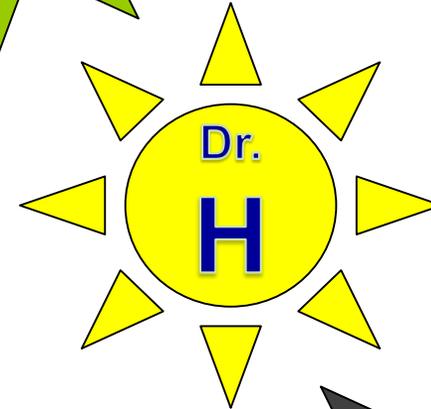


様々な形態の Dr.G に対応

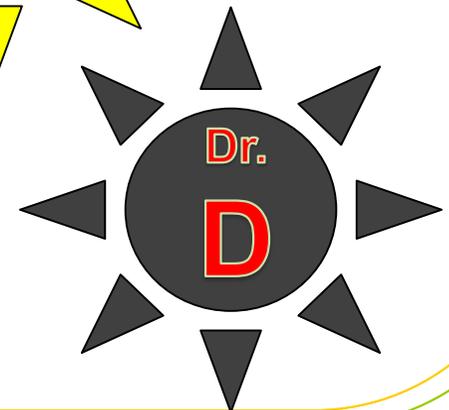
いわゆる
プライマリ・ケア医
(Primary Care Physician)



いわゆる
病院総合医
(Hospitalist)



いわゆる
診断医
(Diagnostician)



本専門研修プログラムが目指す 「総合診療医」とは？

C) 自らの診療や研修に対して、自覚と責任を持ち、その向上に努める態度を習得するとともに、周囲に対して、総合診療専門医の役割と意義を示せるよう、模範的な立ち振る舞いができる。また、患者やその家族、初期研修医や学生などに、学びを促して共に成長しようとする学習者かつ教育者としての資質を得ることができる

本専門研修プログラムが目指す 「総合診療医」とは？

D) 社会的通念上必要と考えられる常識を判断できるとともに、患者や患者家族が有する多様な価値観に対しても理解を示し、共感的に問題解決にあたるよう努力することができる

年度スケジュール（概要）とは？

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ SR1: 研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布 ・ SR2、SR3、研修修了予定者: 前年度分の研修記録が記載された研修手帳を月末まで提出 ・ 指導医・PG 統括責任者: 前年度の指導実績報告の提出
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回研修管理委員会: 研修実施状況評価、修了判定
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修修了者: 専門医認定審査書類を日本専門医機構へ提出 ・ 日本プライマリ・ケア連合学会学術集会参加（発表）（開催時期は要確認）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修修了者: 専門医認定審査（筆記試験、実技試験） ・ 次年度専攻医の公募および説明会開催
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部地方会演題公募（詳細は要確認）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回研修管理委員会: 研修実施状況評価 ・ 公募締切（9月末） ・ 日本病院総合診療医学会学術集会参加（発表）（開催時期は要確認）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部地方会参加（発表）（開催時期は要確認） ・ SR1、SR2、SR3: 研修手帳の記載整理（中間報告） ・ 次年度専攻医採用審査（書類及び面接）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ SR1、SR2、SR3: 研修手帳の提出（中間報告）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回研修PG管理委員会: 研修実施状況評価、採用予定者の承認
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック支部ポータル発表会
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本病院総合診療医学会学術集会参加（発表）（開催時期は要確認）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ その年度の研修終了 ・ SR1、SR2、SR3: 研修手帳の作成（年次報告）（書類は翌月に提出） ・ SR1、SR2、SR3: 研修PG評価報告の作成（書類は翌月に提出） ・ 指導医・指導責任者: 指導実績報告の作成（書類は翌月に提出） ・ 第4回研修PG管理委員会: 終了予定者の終了判定会議

SR1 : 1年次専攻医

SR2 : 2年次専攻医

SR3 : 3年次専攻医

ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	名古屋市立大学病院 総合内科 (必須)			名古屋市立大学病院 救命救急センター または 連携病院 救急科			名古屋市立大学病院 小児科 または 連携病院 小児科			中頓別町 国民健康保険病院 総合診療科 (必須)		
	領域	内科			救急科			小児科			総診Ⅰ		
2年目	施設名	名古屋市立大学病院 内科 または 連携病院 内科										連携病院 B群 総合診療担当科	
	領域	内科										総診Ⅱ	
3年目	施設名	連携病院 B群 総合診療担当科						連携病院 A群 総合診療科			名古屋市立大学病院 総合内科・総合診療科 (必須)		
	領域	総診Ⅱ						総診Ⅰ			総診Ⅱ		

※週 0.5～ 1日の研修日を設ける予定で、総合診療研修に必要な外来研修などを他の施設で行えるよう 調整する予定です。

カリキュラムのローテーション項目とは？

- 3年間のプログラムは、下記のローテーション項目に分類されます。その他の科の研修以外は必修です。
- 総合診療専門研修Ⅰ（総診Ⅰ）：プライマリケア研修、6か月
- 総合診療専門研修Ⅱ（総診Ⅱ）：病院総合診療研修、12か月
- 内科研修：12か月
- 小児科研修：3か月
- 救急科研修：3か月
- その他の科の研修：総診Ⅱの中で調整します。

総診 I は？

- 診療所や中規模病院（研修施設A群）にて、プライマリケア研修や家庭医療研修、訪問診療などを中心に研修します。
- 北海道・中頓別町国民健康保険病院に、3か月のローテーションが必修です。
- （総診 I および総診 II を合わせて）北海道・中頓別町国民健康保険病院と、知多厚生病院（附属篠島診療所を含む）と、足助病院の3病院で、合計12か月の選択が必須です。
- 週0.5~1日の研修日を設け、ファミリークリニックなどの他施設で、プライマリケア外来診療など研修できるように調整する予定です。

総診 I が研修できる施設は？

研修施設A群

- 中頓別町国民健康保険病院（北海道）（3か月：原則必修）
- 愛知厚生連 知多厚生病院（附属篠島診療所を含む）（知多市）
- 名古屋市立 緑市民病院（緑区）
- 三重厚生連 菰野厚生病院（三重県三重郡菰野町）
- 愛知厚生連 足助病院（豊田市助長）
- 笠寺病院（南区）
- さわらび会福祉村病院（豊川市）
- 名古屋市 厚生院（名東区）
- おがたファミリークリニック（守山区）

総診Ⅱは？

- 中～大規模病院（研修施設B群）にて、病院総合診療などを中心に研修します。
- 各病院に、原則として、3か月以上のローテーションを行います。
- 週0.5～1日の研修日を設け、ファミリークリニックなどの他施設で、プライマリケア外来診療など研修できるように調整する予定です。
- （総診Ⅰおよび総診Ⅱを合わせて）北海道・中頓別町国民健康保険病院と、知多厚生病院（附属篠島診療所を含む）と、足助病院の3病院で、合計12か月の選択が必須です。
- 基礎内科研修として、初年度に3か月間、名古屋市立大学病院総合内科・総合診療科にローテーションしていただきます。また、最終年度にも、総合診療研修として、同科を3か月間ローテーションして頂きます。

総診Ⅱが研修できる施設は？

研修施設B群

- 名古屋市立大学病院（基本総合診療研修6か月）
- 名古屋市立 西部医療センター（北区）
- 豊川市民病院（豊川市）
- 愛知厚生連 稲沢厚生病院（稲沢市）
- 愛知厚生連 知多厚生病院（附属篠島診療所を含む）（知多市）
- 愛知厚生連 足助病院（豊田市足助町）
- 三重厚生連 いなべ総合病院(三重県いなべ市)
- 三重厚生連 菰野厚生病院（三重県三重郡菰野町）
- 大同病院（南区）
- 蒲郡市民病院（蒲郡市）
- 名古屋市立 緑市民病院（緑区）
- 笠寺病院（南区）
- さわらび会福祉村病院（豊川市）
- 名古屋市 厚生院（名東区）

必修内科研修は？

内科研修可能施設群

- 名古屋市立大学病院（基本総合診療研修6か月）
- 名古屋市立 西部医療センター
- 名古屋市立 東部医療センター
- 労働者健康福祉機構 旭労災病院
- 豊川市民病院
- 愛知厚生連 稲沢厚生病院
- 愛知厚生連 知多厚生病院（附属篠島診療所を含む）
- 愛知厚生連 足助病院
- 三重厚生連 いなべ総合病院
- 三重厚生連 菰野厚生病院
- 大同病院
- 蒲郡市民病院
- 名古屋市立 緑市民病院
- 笠寺病院
- さわらび会福祉村病院
- 名古屋市 厚生院

内科研修は、総合内科専門研修と同様のプログラム目標を用い、最低12か月間の研修をします。このローテーションの間は、総合内科専攻医と同様の研修ログや研修目標を用いて研修します。

必修救急科研修は？

救急科研修可能施設群

- 名古屋市立大学病院（救急救命センター）
- 豊川市民病院
- 名古屋市立 東部医療センター

救急科研修は、救急科専門研修と同様のプログラム目標を用い、最低3か月間の研修をします。このローテーションの間は、救急科専攻医と同様に研修します。

必修小児科研修は？

小児科研修可能施設群

- 名古屋市立大学病院
- 名古屋市立 西部医療センター
- 豊川市民病院
- 労働者健康福祉機構 旭労災病院
- 愛知厚生連 稲沢厚生病院
- 愛知厚生連 知多厚生病院
- いなべ総合病院
- 菰野厚生病院
- 大同病院
- 蒲郡市民病院

小児科研修は、小児科専門研修と同様のプログラム目標を用い、最低3か月間の研修をします。このローテーションの間は、小児科専攻医と同様に研修します。

選択研修は総診Ⅱの一環として選択が可能です。

その他の科（選択）研修は？

その他の診療科の研修可能施設群

- **名古屋市立大学病院**
(産婦人科、外科、精神科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科)
- **名古屋市立 西部医療センター**
(産婦人科、精神科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科)
- **豊川市民病院**
(産婦人科、外科、精神科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科)
- **名古屋市立 東部医療センター** (外科、整形外科)
- **愛知厚生連 知多厚生病院** (整形外科)
- **三重厚生連 いなべ総合病院** (外科、整形外科)
- **三重厚生連 菰野厚生病院** (外科、整形外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科)
- **蒲郡市民病院** (外科、脳神経外科)
- **名古屋市立 緑市民病院** (外科、脳神経外科、泌尿器科)

ローテーションの決め方は？

- **研修総括管理者と相談したうえで、年度毎に開催される研修管理委員会の協議を経て決定します。**
- **研修内容の進捗状況を吟味しながら、施設の特徴を考慮し、必要な研修内容が得られる施設での研修を選択していきます。**

身分や給与、その他

- 名古屋市立大学病院では、シニアレジデントとして研修していただきます。シニアレジデントには、年度に応じて、病院より定められた救急当直業務（月1-2回程度の予定）に従事していただきます。
- 連携施設においては、各病院のローテーション期間などを考慮して、所属先を変更したり、出向したりしていただきます。
- 給与については、募集開始時に、病院からの募集要項にて確認できます。

平成31年度募集人数（予定）は？

4名

名古屋市立大学病院



病院 HP



総合研修センター
HP



総合研修センター
FaceBook



〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
電話番号：052-851-5511

名古屋市立 西部医療センター



病院HP



〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1
電話番号：052-991-8121(代表)

豊川市民病院



病院HP



〒442-8561 豊川市八幡町野路23番地
電話番号：0533-86-1111(代表)

大同病院（大同クリニック）



病院HP



〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地
電話番号:052-611-6261(代表)

名古屋市立 東部医療センター



病院HP



〒464-8547 名古屋市千種区若水一丁目2番23号
電話番号：052-721-7171（代表）

名古屋市立 緑市民病院

病院HP



〒458-0037 名古屋市緑区潮見が丘1-77
電話番号：052-892-1331(代表)

愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院

病院HP



〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20番地
電話番号：0565-62-1211(代表)

愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院（附属 篠島診療所）

病院HP



〒470-2404 愛知県知多郡美浜町大字河和字西谷81番地の6
電話番号：0569-82-0395（代表）

愛知県厚生農業協同組合連合会 稲沢厚生病院



病院HP



〒495-8531 愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野7
電話番号：0587-97-2131（代表）

三重県厚生農業協同組合連合会 いなべ総合病院



病院HP



〒511-0428 三重県いなべ市北勢町阿下喜711
電話番号：0594-72-2000（代表）

三重県厚生農業協同組合連合会 菰野厚生病院



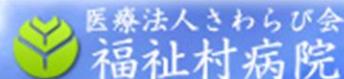
病院HP



〒510-1234 三重県三重郡菰野町福村75
電話番号：059-393-1212（代表）

さわらび会 福祉村病院

病院HP



みんなの力でみんなの幸せを



〒441-8124 愛知県豊橋市野依町字山中19-14
電話番号：0532-46-7511（代表）

笠寺病院



病院HP



〒462-8508 名古屋市南区池松町3-19
電話番号：052-811-1151（代表）

名古屋市 厚生院

病院HP



〒462-8508 名古屋市名東区勢子坊2丁目1501番地
電話番号：052-704-2211（代表）

蒲郡市民病院



病院HP



〒443-8501 愛知県蒲郡市平田町向田1-1
電話番号：0533-66-2200（代表）

独立行政法人労働者健康福祉機構 旭労災病院



病院HP



〒488-0875 愛知県尾張旭市平子町北61番地
電話番号：0561-54-3131（代表）

中頓別町国民健康保険病院



病院HP



〒098-5551

北海道枝幸郡中頓別町中頓別175番地

TEL:01634-6-1131 (代表)

FAX:01634-6-1132

おがたファミリークリニック

クリニック HP



〒463-0009 愛知県名古屋市守山区緑ヶ丘107
電話番号：052-768-6093（代表）

本プログラムでは

- 豊富な指導医と研修施設を準備しています。
- 専攻医の皆さん自身にも、主体的に学ぶ姿勢を求めます。
- 確かな倫理観と高い責任感をもって、総合診療医としての専門性とプライドを自覚しながら、自己研鑽を欠かさず、日本の医療や総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。
- 本研修 PG での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めるとともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医となります。

さらに

- あなたのキャリアパスを充実させるべく、専門研修後にも引き続いて、総合診療医の活躍の場を提供するとともに、研究者や教育者としての将来も提供してまいります。
- 専門研修後には、海外での総合診療研修・従事についても相談に応じます。
- 診療・研究・教育の3つのバランスを上手に保ちながら、総合診療医の理想形を追求していきましょう。

お問い合わせ先



名古屋市立大学病院
総合内科・総合診療科

名古屋市立大学大学院
地域医療教育学

兼松 孝好

052-853-8527
ncucoreunit@gmail.com

